

播磨町農産物品評会が開催されました



▲立派な農産物が並びました

12月25日、JA兵庫南播磨支店「ふれあい会館」において、第8回農産物品評会が行われました。地域農業の振興と栽培技術の向上を目的に、播磨町とJA兵庫南の共催で開催されたもので、今年は13人の生産者から26点の出品がありました。審査の後、出品作物の即売が行われましたが、見事なできばえの作物は大好評でした。売上金は播磨町社会福祉協議会に寄付されました。今後も多くの生産者に出品していただき、消費者の皆さんに町の農産物を知ってもらう機会として農産物品評会を開催してまいります。

来年も、ぜひ足をお運びください。

第33回播磨町ロードレース大会 1440人が駆け抜けました

1月23日、恒例の播磨町ロードレース大会が開催されました。朝一番の中学生の部を皮切りに16に分かれた各々が、総合体育館前をスタートし、はりま大橋で海を渡って新島内コースに挑んでいきました。今年、新設された男女ペアの部には11組の方がエントリーしました。閉会式では、「いせきくん、やよいちゃん」の着ぐるみが賞品を手渡すなど、最後まで会場は大勢の人でにぎわいました。



▲13部男女ペアの部 1位のゴール



▶ 11部5km一般男子の部と12部5km一般女子の部のスタート

播磨町ふるさと賞

播磨町ふるさと賞は、文化、スポーツの分野でめざましい活躍をし、町民に希望と活力を与え、ふるさと播磨の名を広く知らしめた個人または団体に対し、その栄誉をたたえ贈るものです。平成8年に創設し、坂井さんと16人目、浜口くんで17人目です。



坂井優紀さん(北本荘)



浜口孝太くん(北野添)

坂井優紀さんは、21歳。アイナック神戸レオネッサに所属し、第32回全日本女子サッカー選手権大会で優勝しました。

坂井さんは、小学校5年生のとき播磨サッカークラブに入り、中学・高校とサッカーの腕を磨き、現在のチームで快挙を達成されました。今は、チリ遠征に向けて強化練習のため、コメントを寄せていただきました。

「このような賞をいただけて大変うれしく思います。男子代表に負けじと頑張っている女子日本代表に入ることが今の私の夢です。ふるさと賞を頂いたことをきっかけに目標とされる選手になれるよう、日々の練習を大切に、頑張っていきたいと思っております」

浜口くんは、私立滝川第二高等学校の3年生。第89回全国高校サッカー選手権大会で優勝しました。平成22年8月に開催した全国高等学校総合体育大会サッカー競技大会では準優勝でした。主将を務める浜口くんは、大会前の3カ月間、寮に入ったことで練習に集中でき、チームがまとまったといいます。

「優勝できるとは思わなかった。チームのまとまりが日本一をとる原動力になった。苦しいときもあったが、みなぎりとこの方向に向いてくれた。本当にうれしい」と語ってくれました。町長からは「播磨町の誇りです。子どもたちの目標となってもっと輝くように頑張ってください」とエールを送りました。

播磨ふれあいの家 だより



▶多々良木ダムとサクラ

- 多々良木ダム周辺(周回道路) 車で当館からおよそ30分で1周できます
  - 奥多々良木発電所千本桜 車で当館から15分程度です
  - 竹田城跡 車で当館から約30分と徒歩15分で頂上です
  - 立雲峡 車で当館から約20分です
  - 竹田 円山川河川敷の桜並木 車で当館から約20分です
  - ◎大屋(朝来市外)「樽見の大桜」天然記念物推定樹 齢千年 車で当館から約50分と徒歩20分です
- 播磨ふれあいの家を拠点にして散策してみませんか?  
播磨ふれあいの家より
- ▶予約・問合せ ☎079(678)1481

わんぱくはりまっ子



ほり はるゆき 堀 晴之くん(10ヵ月) 野添城

心も体もどんどん大きくな〜れ!! お父さん・お母さんより

楽屋裏

表紙で紹介した蓮池小学校での合同訓練取材しました。「緊急情報」が流れ、子どもたちはあわてることなく指示に従って、運動場までの非難をすることができました。災害時には、各組織の連携が必要不可欠です。この訓練では、学校、自主防災組織、日赤奉仕団、消防団、消防署、行政がそれぞれの役割を確認しながら訓練を行いました。私も、地域や家庭で、災害時を想定した話し合いをしてみようと思います。(宮)

いいね! はりま

町政 レポート No.50



▲播磨サッカークラブ 坂口正信監督と共に

立春も過ぎて、町内の景色も少しずつ春めいてきました。寒さも遠のいてもうすぐ春全開です。卒業シーズンですね。この春新しい世界を目指して飛び立つ若者に幸多かれと祈ります。◆2人の若者に「ふるさと賞」を贈りました。一人は今年の全国高校サッカー選手権大会でみごと優勝した滝川第二高等学校サッカー部の主将として活躍した浜口孝太さんです。2歳の時に神戸で震災に遭い、その後播磨町に移り住み、蓮池小学校、播磨中学校で学び、小学2年生から町内のサッカークラブに所属されていました。関係者の話ではすでにその頃から光る逸材であったようです。また、選手としてだけでなくチームのまとめ役としての心構えもしっかりと持たれていて、さわやかな好青年という印象でした。間近に海外遠征が控えているということでしたが、4月からは東京の大学に進学し、プロのサッカー選手を目指されるということです。もうお一人は坂井優紀さん。今年の全日本女子サッカー選手権大会で優勝したINACの選手として活躍されました。この日はチームの日程の都合で代理授与という形になりましたが、これまで数々の素晴らしい実績を残されています。播磨町のサッカー教室から巣立っていったこのお二人が立派に成長し、多くの人々に感動を与える存在にまでなれたことは、播磨町民として誇りに思います。サッカークラブの後輩たちも町民も応援しています。みんなで夢の実現を見守っています。頑張ってくださいね。

播磨町長 清水ひろ子

広報はりま2月号トピックスに掲載しました瑞宝単光章を授章された堤克文さんのご住所に誤りがありました。正しくは「野添」です。お詫びして訂正します。